



学校評価だより

令和7年度 前期号
令和7年10月9日
京都市立正親小学校
校長 長谷川 英司

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

7月に、前期のアンケートには、多数ご協力いただきありがとうございました。

今年度も、それぞれの質問項目に対して「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4段階で評価していただきました。数値は割合(%)を示しています。

この結果を保護者・地域・教職員で共有し、これらのデータを本校の「めざす子ども像」の実現に向けて考察しました。また、児童・保護者・教職員(以下、三者)の数値を比較することで、より有効な手立てを追求していきます。

	評価項目	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
徳①	学校が楽しい	児 65	30	4	1
	子どもは、毎日楽しく学校へ通っている。	保 50	47	2	1
	教 37	63	0	0	0
徳②	自分からあいさつをしている	児 51	41	7	0
	子どもは、自分からあいさつをしている。	保 29	52	18	1
	教 13	75	13	0	0
徳③	友だちにやさしくしている。	児 55	40	5	0
	子どもは、友達に優しくしている。	保 55	45	0	0
	教 38	63	0	0	0
徳④	たてわり活動が楽しい。	児 63	32	5	0
	子どもは、たてわり活動を楽しんでいる。	保 56	42	2	0
	教 50	50	0	0	0
徳⑤	「学校の決まり」を守っている。	児 49	48	3	0
	子どもは、「学校のきまり」を守っている。	保 47	51	2	0
	教 37	63	0	0	0
徳⑥(新)	使ったものは、元の場所に片づけている。	児 64	33	3	3
	子どもは、後始末の習慣ができている。	保 18	45	34	3
	教 6	81	13	0	0
知①	勉強が楽しい。	児 54	30	13	3
	子どもは、楽しく勉強している。	保 20	63	16	1
	教 31	69	0	0	0
知②	すすんで学校での学習に取り組んでいる。	児 41	46	11	2
	子どもは、進んで学校での学習に取り組んでいる。	保 26	57	14	3
	教 25	75	0	0	0
知③	授業中考えたことを発表している。	児 36	42	19	3
	子どもは、自分の考えたことを伝えている。	保 22	64	13	1
	教 13	87	0	0	0
知④	先生や友達の話をしっかりと聞いている。	児 57	39	3	0
	子どもは、人の話を聞いている。	保 26	60	13	1
	教 19	75	6	0	0
知⑤	すすんで読書をしている。	児 47	32	16	6
	子どもは、進んで読書をしている。	保 28	32	36	4
	教 87	13	0	0	0
知⑥	家での学習をきちんとしている。	児 50	34	14	2
	子どもは、家庭での学習をしている。	保 36	37	25	2
	教 6	88	6	0	0
体①	きそく正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をしている。	児 41	45	11	3
	子どもは、規則正しい生活を送っている。	保 42	48	9	1
	教 6	81	13	0	0
体②	すすんで体を動かしたり、運動をしたりしている。	児 63	28	7	3
	子どもは、進んで体を動かしたり、運動をしたりしている。	保 53	35	10	0
	教 6	94	0	0	0
体③(新)	安全に気を付けて生活をしている。	児 74	23	3	0
	子どもは安全に気を付けて生活している。	保 43	56	1	0
	教 13	88	0	0	0

自分で考え行動する子

全体的に、児童は学校生活を楽しんでおり、友達との関係も良好であると考えます。

知⑤読書に関する項目に対して、児童・保護者・教職員の認識に大きな差があることについて、教職員で考察してみました。学校司書や図書ボランティアの尽力によって、本校における読書への取り組みは大変充実しており、図書館へ来館する児童も多く、朝のおはよう読書の時間を始め、校内で本に親しむ機会は多いと感じています。一方、保護者の「そう思う」の数値が低いのは、家庭での読書習慣に対して満足できないことを表していると考えています。

子どもたちは、本が好きで読む環境があれば抵抗なく本に向かうことができます。反対に、周りに読みたい本がなければ、また周りの人が本を読まなければ読みません。そこで、周りの大人が読書に关心を持ち、本に親しむ姿を積極的に見せていくことを考えました。

学校で子どもたちが読書に親しむ姿をホームページで発信し、

学①	話したいことを先生に話している。	児	41	42	13	4
	一人一人の児童と対話している。	教	25	75	0	0
学②	学校の出来事などを家の人に話している。	児	61	29	7	3
	学校の出来事などについて親子で対話している。	保	38	55	7	0
学③	地域の行事に参加している。	児	32	35	20	13
	PTAや地域の行事に参加している。	保	25	51	22	3
学④	学校は、PTAや地域の行事への参加を呼びかけている。	教	38	58	6	0
	学校は、児童の良さや可能性を伸ばすよう取組を進めている。	保	32	62	6	0
学⑤	学校は、学校・学級だよりやホームページなどで、取組の様子を配信している。	教	31	69	0	0
	保護者は、授業参観や学校行事などに参加している。	保	54	44	2	0
学⑥	学校は授業参観や学校行事などへの参加を呼びかけている。	教	44	56	0	0
	保護者は、授業参観や学校行事などに参加している。	保	55	40	5	0
三校 合同 ①	自分にはよいところがあると思う。	児	55	30	13	3
	子どもが自分にはよいところがあると思うことができるよう働きかけている。	保	31	59	10	0
三校 合同 ②	難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している。	児	48	41	11	1
	子どもが難しいことでも失敗をおそれないで挑戦することができるように働きかけている。	教	23	60	17	0
三校 合同 ③	自分の夢や目標を持って過ごしている。	児	44	56	0	0
	子どもが自分の夢や目標を持って過ごすことができるよう働きかけている。	保	68	18	9	5
		教	25	60	14	0
		教	25	69	6	0

教職員が子どもたちと一緒に本に親しむ機会をつくりていきます。学校と地域、保護者の皆様とともに、子どもたちが進んで読書をする環境をつくりていきましょう。

知⑥家庭学習について

は、ほかの項目に比べて「そう思わない」「あまりそう思わない」の割合が高く、難しい課題であると受け止めています。家庭学習というは、宿題という形で与えられてするだけのものではなく、学年が上がるにつれて自主学習が増えていきます。

また、個別最適な学習を進めていくためには、宿題に関しても一律に同じ課題に取り組むのではなく、個に応じた内容を課題とする場合も増えてきています。学校でも何を宿題とするかを検討する中で、子どもたちの家庭での様子なども考慮しながら家庭学習の在り方について考えていきたいと考えています。家庭学習についての困りなどはぜひ学校にご相談いただければと思います。



知④「人の話を聞く」の項目では、例年子どもたちと保護者・教職員の間に意識の差がありますが、教職員の

間では、本校児童はしっかり人の話を聞き、素直に受け止めることができる児童が多い印象です。また、友達との関わりを見ていても、困っている人がいれば声をかけ、助けてあげられる児童も多いと思います。学校ではこのような姿が多く見られるよう、たくさんの友達や先生、保護者・地域の方と触れ合う機会をつくり、「人の言葉に耳をかたむける子」を育成しています。家庭では学校と違った姿を見せるのは当然ですが、一歩社会に出たときに子どもたちがどのように人との関わっているのかを見守っていただきたいと思います。

学校での子どもたちの様子は、あまり上手に話せない子どもも多いと思います。気になることがあればいつでも学校にお越しいただき、お子達の様子を見たり、教職員と話したりしてください。また、ホームページでも毎日子どもたちの様子や学校の様子を配信しています。ぜひご覧ください。



三校合同②の項目が、この目標にぴったりあてはまります。肯定的に回答している児童が 9 割近く、そのように働きかけているという保護者も 8 割以上という結果です。

学校では、日々子どもたちの**挑戦**を見守りながら、一人一人が「やってみよう」と思える学級・学校づくりを進めています。みんなが安心して挑戦できるような環境を設定し、「みんなが笑顔」になれる学校を目指しています。今回のアンケートで「あまりそう思わない」「そう思わない」回答をした12%の児童が安心して挑戦できるように、そして、失敗しても起き上がりるようにサポートし続けます。

今回のアンケートを通して、皆様の声から多くの気づきを得ることができました。今後も児童一人ひとりの成長を支える学校づくりを進めてまいります。11月には、学校運営協議会理事会を開催し、この結果をもとに理事の皆様よりご意見をいただく予定です。引き続き、温かいご支援をよろしくお願ひいたします。